※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（建築設備系　設備システム専科）

教科	工業科	科目	（学）一般構造	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	建築構造(実教出版)						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物の構造および建築材料に関する基礎的な知識と技術を習得させ、計画・設計に活用する能力を養う。

2　学習の到達目標

・建築物の各部名称・役割、使用材料の名称・特性、部材の構成方法などに関する基礎的な知識・技術を理解・習得させる。
・「設備システム製図」「設備計画」などと関連させ、建築一般構造についての基礎的知識を理解・習得させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身につけ、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、建築設備における建築物の諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断したり、創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現できる。	建築物の構造や建築材料に関心を持ちこれらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	建築構造のあらまし	・建築構造のなりたち ・建築構造の歴史的発達 ・分類 ・建築物に働く力 ・関連する法律・規準	a: 建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技術を身につけ、建築設備の知識と融合し建築物の構造や建築材料の意義や役割を理解することができる。 B: 建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 建築物の構造や建築材料に関する基礎に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
二学期	木構造	・構造の特徴と構造形式 ・木材 ・木材の接合 ・基礎 ・軸組 ・小屋組	a: 木構造のうち、在来軸組構法の構造形式や構成部材に関する知識や技術を身につけ、建築設備の知識と融合し建築物の構造や建築材料の意義や役割を理解することができる。 B: 木構造のうち、在来軸組構法に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 木構造にうち、在来軸組構法の構造形式や構成部材に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
三学期	木構造	・床組 ・階段 ・開口部 ・外部仕上げ ・内部仕上げ ・木造枠組壁構法	a: 木構造のうち、木造枠組壁構法の構造形式や構成部材に関する知識や技術を身につけ、建築設備の知識と融合し建築物の構造や建築材料の意義や役割を理解することができる。 B: 木構造のうち、木造枠組壁構法の構造形式に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、自身の考えを基に課題を見つけ、説明することができる。 c: 木構造のうち、木造枠組壁構法の構造形式や構成部材に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。議論を通して学習内容の振返りを行い、考察をすることでさらに理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度